Eco & Peace Navigator

食材のお届けだけじゃない! パルシステム東京の 社会活動をご紹介。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 第1回「ジャパン SDGsアワード I 受賞

発行日:2021年11月22日 発行:パルシステム東京 組織政策推進本部

Vol.3

開催報告

「いなぎめぐみの里山オンライン散策(1部)」と 「リモート竹食器作り体験(2部)|

10/30(土)、いなぎめぐみの里山をフィールドにしたオンライン企画を開 催しました。1部では里山の自然と竹についての解説を聞き、2部では事前 に送られてきた里山の竹を使って食器の工作を行いました。



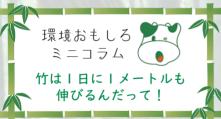
▲講師が里山を散策している様子

いなぎめぐみの里山オンライン散策(1部)

まず、事前に撮影しておいた、いなぎめぐみの里山の散策を楽しめる動画を視聴しました。動画の中では、里山 で見られる植物や日本の森林の特徴について解説され、続いて「なぜ竹食器作りが森を守ることにつながるのか」 についての説明がありました。竹は成長が早く、地下茎を地中で横に伸ばすことでどんどん増え、そのまま放置す ると他の植物が育たない森になってしまいます。竹を適切に伐採し、伐採した竹を工作や山道作りに活用することは、 里山の生物多様性を守ることにつながるんですね。

リモート竹食器作り体験(2部)

次はいよいよ竹食器作り。竹皿とお猪口2つ、徳利を作ります。 事前に届いた竹と工具を準備し、PCやタブレット端末の画面に 映る講師の説明を聞きながら、慎重に作業していきます。竹皿は、 すでに縦半分に割ってある竹の切り口を紙やすりで滑らかにし ていきます。お猪口は竹の節を底に見立て、ちょうどいいところ で切り落とし、飲み口になる部分を小型ナイフで削ったら完成。 徳利は細長い竹を斜めに切ります。オンラインで、対面での開 催とは違う難しさもあったと思いますが、皆それぞれ、思い思い の作品ができあがりました。最後は自分で作ったお猪口を持って、



カンパーイ! チャッ ト欄にはさっそく「竹 の香りがする水を飲 んでいます」と感想 を送ってくれた方も いました。



▲竹食器作りの様子



▲竹食器の完成! みんなでお披露目

新商品紹介

地球の未来にまじめなボディソープ

2021年9月に新登場のパルシステムオリジナル石けん。 無茶々園の甘夏、さわやかな香り。

詳しくはコトコト・Kinari本誌をご覧ください。



ろがまじめ! その3 フェアトレードの マスコバド糖 保湿性を高め、

泡もちしっかり。





産直パーム核油の石けん

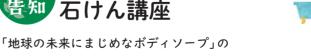


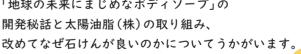




乾かしてから、通い箱に入れてお戻しを!

地球の未来にまじめな 石けん講座





時:12月17日(金) 13:00~15:00(120分)

場:オンライン開催 ■会

師:堀 清貴氏(太陽油脂株式会社)

■参加費:無料

■申込締切:12月8日(水)12:00

■申込方法:二次元コードおよび

公式HPよりお申し込みください。

■問い合わせ先:環境推進課

Eメール: kankyo-tokyo@pal.or.jp



コチラ!

堀 清貴 氏

お申込は

難民を知る

そして人権を考える 難民問題に取り組む学生団体の皆さん との「トークセッション書き起こし」を



▲タイ国境難民キャンプの様子(*4)

パルシステム東京ホームページで公開中

詳細は

コチラ!



出口の見えない難民問題の今

難民支援に関わるNGO3団体と

学生によるトークセッション



pal*system

"難民が抱える問題は私の問題でもある"

7月に開催したオンライン学習会「出口の見えない難民問題の今」より、 難民支援に取り組む3つの団体による講演内容を一部ご紹介します。

国連UNHCR協会



はじめに、国連UNHCR協会の 天沼耕平さんから難民問題の概 要と解決に向けたアプローチを 学びました。オリンピック・パラ リンピックの難民選手団に限ら ず、コロナ禍でも懸命に生きる 難民の方々のリアルな現状が浮 かび上がります。

パレスチナ子どものキャンペーン

次に、パルシステム東京の「平和カン パ」贈呈先団体の一つ、パレスチナ子 どものキャンペーン・中村哲也さん からは軍事封鎖下のパレスチナ・ガ ザ地区での子どもたちへの支援事業 や、再び激化してしまった空爆被害 に対する現地の声や緊急支援などを 紹介いただきました。



シャンティ国際ボランティア会

人びとの声 様々な支援ニーズ

食糧 (栄養食品含む)



2021年1月 •••••••••

同じく平和カンパ贈呈先団体のシャン ティ国際ボランティア会・菊池礼乃さん からは、今年2月に軍事クーデター以 降、不安定な情勢が続くミャンマー(タ イ国境)の難民キャンプでの図書館事業 支援の今をお聞きしました。

若い世代の薬やアルコール依存、自殺者 の著しい増加など非常に厳しい状況に は心が痛みます。



菊池さんは難民キャンプ出身の同僚が抱えたアイデンティティの葛 藤を「自分(私)の問題」でもあると強く感じ、難民支援に本格的に取 り組むきっかけになったと話しました。

菊池 礼乃 氏

批准・署名していません!

2021年1月「核兵器禁止条約」 の批准国が50カ国を超えて

パルシステム東京では2020年12 月にICAN国際運営委員の川崎哲

さんを講師とした学 習会を開催しました。

条約として発効。

詳細レポートはコチラ▶

「核兵器禁止条約」の発 効を受け、全国で学生・ 若者団体の活動も今ま で以上に活発になって います。

■資料スライド・写真提供:国連 UNHCR 協会 (*1)、パレスチナ子どものキャンペーン (*2)、シャンティ国際ボランティア会 (*3・*4)



詳細は

パルシステム東京は2021 年6~9月に「日本政府に 核兵器禁止条約の批准・署 名を求めるための署名しへ の賛同を呼びかけ、2,544 筆の署名が集まりました。 寄せられた署名は「日本原 水爆被害者団体協議会 | を 通じて日本政府へ。

ご存知ですか? 日本政府は条約を

-番必要な支援は?

参加者からの質問に、中村さんは次のように語ります。 「私たちもよく考えるし、求めていることでもあります。 ただ、やっぱり人間の存在ってそんなに単純なものでは ないなとも…(略)…教育が必要、医療が必要、水が必要、いろいろなも ので生活が成り立っていて、そのどれが欠けても人間として生きてい

くことが難しくなる。難民を知っていく中に、自分たちと同じように、 いろんなものが合わさった存在として人間が生きているんだというこ と、その人たちの人権に対して、どういったところから自分は共感をす

るのかといった、そういった感覚が必要ではないかと私は思います」



安田菜津紀さんとトークライブ

コロナ禍、学校教育、ジェンダーなど 身近なくらしの視点から

12/13(月)19時~オンラ イン学習会を開催します。 参加費無料/要事前登録。 詳細はパルシステム東京 ホームページをご覧ください。



詳細は

安田 菜津紀 氏



2022年3月

オーストリア 核兵器禁止条約の 第1回締約国会議 開催!

パルシステム東京では締約国会議開催目前の2022 年2~3月頃に、核廃絶に取り組む学生・若者団体と連 携してオンライン学習会を開催予定。

詳細は12月中旬以降配布の週刊WITHYOUやパル システム東京ホームページ「イベント」をご覧くだ さい。

■発行:生活協同組合パルシステム東京 組織政策推進本部